

- 問1 幕府が1825年に出した、近づいてくる外国船を武力で追い払うように命じた法令を何という？
- 問2 四国艦隊下関砲撃事件を引き起こし、幕末に尊王攘夷運動の拠点となっていた藩はどこ？
- 問3 南京条約によって、清がイギリスに割譲した地域を何という？
- 問4 1853年にペリーが浦賀へ来航した際に率いてきた、当時の日本人が驚いた蒸気船などの近代的な軍艦を何という？
- 問5 1864年に長州藩による外国船砲撃への報復として、イギリス・フランス・アメリカ・オランダが下関を攻撃するために編成した艦隊を何という？
- 問6 1858年に江戸幕府がアメリカなどと結んだ、自由貿易の開始を認めることになった条約を何という？
- 問7 19世紀、欧米列強がアジア近海で航行するために不可欠とし、燃料補給地を求めて日本への開国要求を強める要因となった船舶を何という？
- 問8 1866年、対立していた薩摩藩と長州藩を仲介し、両者の和解を実現させた土佐藩出身の人物は誰？
- 問9 江戸幕府において、将軍の補佐として幕政の最高責任者であった職名を何という？
- 問10 1860年、大老の井伊直弼が水戸藩の浪士らによって江戸城桜田門外で暗殺された事件を何という？
- 問11 1858年に日本が結んだ日米修好通商条約において、日本が認めてしまった、外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁くことができない権利を何という？
- 問12 1853年に浦賀へ来航し、江戸幕府に対して開国を強く求めたアメリカ東インド艦隊の司令長官は誰？
- 問13 坂本龍馬が仲介し、1866年に薩摩藩と長州藩の間で結ばれた軍事同盟を何という？
- 問14 南北戦争中の1863年、戦場跡地でリンカーンが述べた、民主主義の理想を示した演説を何という？
- 問15 金貨流出を防ぐため、幕府が金の含有量を減らして鑄造した通貨を何という？
- 問16 幕末に幕府が出した方針で、日本近海に現れる外国船に対して帰港を促すために、水と共に与えることとした資源を何という？
- 問17 開国直後、当時の日本の貨幣制度の仕組みを悪用され、海外へ大量に流出したものは何という？
- 問18 アメリカがペリーを派遣するきっかけとなった、1840年に清がイギリスと戦った戦争を何という？
- 問19 日米和親条約によって、箱館とともに開港された港を何という？
- 問20 1854年に日米和親条約を締結し、日本に開国を迫った国はどこ？

答え合わせ・解説

問1	答え 異国船打払令	1825年、江戸幕府は「異国船打払令」を出し、日本に近づく外国船を無条件で攻撃して追い払うよう命じました。これにより、武力による攘夷の姿勢が明確になりました。
問2	答え 長州藩	長州藩は幕府の命令に反して、関門海峡を通過する外国船を砲撃しました。これに対し、英・米・仏・蘭の四国艦隊が報復として下関を攻撃し、長州藩は敗北を喫しました。
問3	答え 香港	香港島は、イギリスの東アジアにおける貿易と軍事の拠点としてこの条約で割譲されました。この島は後に近代的な港湾都市へと発展し、イギリスの対中進出の窓口として重要な役割を果たしました。
問4	答え 黒船	1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーは4隻の軍艦を率いて浦賀沖に現れました。船体が黒く塗られていたことから、当時の人々はこれらを黒船と呼びました。圧倒的な軍力を誇示された幕府は、大きな衝撃を受けました。
問5	答え 四国艦隊	1864年、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの四カ国は艦隊を編成し、下関を砲撃しました。この「四国艦隊下関砲撃事件」により、長州藩の砲台は破壊され、多額の賠償金も課せられることになりました。
問6	答え 日米修好通商条約	大老の井伊直弼が朝廷の許可を得ないまま独断で調印しました。この条約では、日本が外国に対して関税を決める権利（関税自主権）がないことや、外国人の犯罪を日本が裁けないこと（領事裁判権の承認）など、日本に不利な不平等条約でした。
問7	答え 蒸気船	太平洋航路の開拓において、日本はちょうどアメリカとアジアの中継地点に位置していました。列強は航行距離を延ばすために、日本を燃料補給基地として利用することを強く望みました。そのため、日本に対し開港を求める圧力が非常に強まりました。
問8	答え 坂本龍馬	土佐藩を脱藩した坂本龍馬は、倒幕のためにはこの二藩の協力が必要であると考えました。そこで、両藩の指導者たちを引き合わせ、1866年に薩長同盟を成立させました。また、海援隊の前身となる亀山社中を作り、貿易や輸送にも力を注ぎました。
問9	答え 大老	大老は幕政の最高責任者であり、緊急時の意思決定を行いました。幕末には井伊直弼が就任し、朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を調印するなど、強権的な政治を推進しました。
問10	答え 桜田門外の変	1860年、登城中だった井伊直弼が、水戸藩の浪士らによって襲撃され、殺害されました。これが桜田門外の変です。幕府の最高権力者が白昼堂々と暗殺されたことは、世間に大きな衝撃を与えました。
問11	答え 領事裁判権	日米修好通商条約は、日本にとって「領事裁判権」を認めず、「関税自主権」もないという、主権を侵害された極めて不平等な内容でした。領事裁判権とは、日本にいる外国人が罪を犯しても、日本が日本の法律で裁くことができず、その外国人の国の領事が自国の法律で裁く権利のことです。
問12	答え ペリー	アメリカの東インド艦隊司令長官ペリーは、4隻の軍艦（黒船）を率いて浦賀に現れました。圧倒的な軍力を背景に、開国と通商を求める大統領の親書を幕府に提出しました。幕府は強硬な態度をとるペリーに対し、防備を固めることもできず、翌年の再来航を約束して一旦回答を猶予せざるを得ませんでした。
問13	答え 薩長同盟	坂本龍馬や中岡慎太郎の尽力により、京都で西郷隆盛と木戸孝允が会談し、薩長同盟が成立しました。この同盟により、両藩は武器や物資の融通を行い、強力な軍力を保持することになりました。
問14	答え ゲティスバーグ演説	リンカーンはわずか数分の演説の中で「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を使い、民主主義の理想を簡潔かつ力強く訴えました。国家の分裂という危機を乗り越え、国民が一致団結して自由と平等を目指すべきだと主張しました。
問15	答え 小判	幕府は金の含有量を減らした新たな小判を鑄造し、流通量を増やすことで対応を試みました。しかし、通貨の質が落ちたことは世間に周知され、貨幣に対する信用が低下して経済的混乱を助長しました。
問16	答え 燃料	薪水給与令に基づき、幕府は日本近海に來航する外国船に対して、薪（燃料）や水、食料を供給し、穏やかに退去させることを命じました。これは、無用な軍事衝突を避け、開国要求を先延ばしにするための消極的な妥協策でした。
問17	答え 金貨	当時の日本は金銀比価が金安だったため、外国人商人が銀を持ち込んで日本の金貨と交換し、それを海外で金と交換して大きな利益を得る「金銀交換比率の差を利用した投機」が横行しました。これにより、国内の金貨が急速に海外へ流出しました。
問18	答え アヘン戦争	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに反発し、イギリスが武力で開国を迫ったことで勃発しました。近代的な軍力を持つイギリスの前に清は完敗し、南京条約を結んで香港の割譲や開港を余儀なくされました。
問19	答え 下田	下田は現在の静岡県に位置する港町です。和親条約により、アメリカ船への燃料・食料の供給を目的として箱館とともに開港地に選ばれました。初代アメリカ総領事ハリスが滞在した玉泉寺があることでも有名です。
問20	答え アメリカ	東インド艦隊司令長官のペリーを派遣し、圧倒的な艦隊の力で幕府に開国を迫りました。日本側の外交努力もあり、武力衝突を避ける形で日米和親条約を締結させることに成功しました。